

医療情報データベース研究におけるアウトカム定義の重要性

レセプトデータ、DPCデータ、疾病レジストリなどの医療情報データベースを用いた研究を行ってみたい方におすすめのセミナーです。

医療情報データベースを用いた研究では、対象集団、曝露因子、アウトカム、及び交絡因子をデータベースから得られる情報で定義することになります。これらの定義が妥当でないと、研究結果のバイアスリスクが高まり、特にアウトカム定義の妥当性が結果に与える影響が大きいと考えられています。本セミナーでは、データベース研究におけるアウトカム定義やバリデーション研究の意義を解説し、どのようにアウトカムを定義すればよいのかについて実例を用いて説明します。



講師：後藤 溫

(公衆衛生学 主任教授/ヘルスデータサイエンス専攻 専攻長)

日時：2022年 **12月7日(水)** (90分セミナー)

17時30分～19時00分

主な対象者：研究責任者・研究分担者を含め特定臨床研究等、医師主導治験、先進医療を複数試験実施または複数年従事している者

参加ご希望の方は、下記URLまたはQRコードよりご登録下さい。

URL：<https://bit.ly/3fmLYcy>

臨床研究セミナーにつき、通常は1回90分セミナーとしておりますが、
今年度のセミナーは、30分・60分・90分のものが混在することが予想されます。

研究責任者/研究分担者/研究協力者・支援者

それぞれの役割に応じたコースのうちから、必要時間分を受講ください。

また、今年度はZoom開催となりますので、可能な方はカメラONでのご参加をお願いします。



認定

本セミナーは
学内「受講証明証」
対象セミナーです。

予定は変更となる可能性があります。最新の情報は、Y-NEXTのホームページまたはY-NEXT通信(不定期)をご確認ください。
次世代臨床研究センター 教育研修室・臨床研究推進担当
Tel: 045-370-7933(内線:3559)
Fax: 045-370-7943
Mail: ynextedu@yokohama-cu.ac.jp
<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ynext/>